

ウクライナ危機緊急支援事業
オンライン報告会

2023年2月21日 19:00～19:45

公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン

ご注意事項



- 今回の報告会は、アーカイブ配信を予定しております。
そのため録画をいたしますので、ご了承ください。
- マイクはミュートに設定をお願いします。
- 配信画面の録画、スクリーンショット、録音はお控えください。
- ご質問は随時、チャット欄へお寄せください。

はじめに



クラウドファンディングに挑戦中！ 2月28日23時まで

寄付金控除型 #ヨーロッパ #社会にいいこと #国際協力 #人権 #マイノリティ #避難所 #発展途上国 #難民 #貧困 #寄付金控除型 #ウクライナ

ウクライナ支援 | 難民の9割を占める女性・子どもたちの明日を支えたい

 公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン



寄付総額

2,486,000円

目標金額 3,000,000円

82%

寄付者 残り
130人 12日

フォローする

プロジェクトの寄付にすすむ

シェア ツイート LINEで送る noteで書く



https://readyfor.jp/projects/care_ukraine_winter



本日の流れ



19:00～19:45

1. 国際NGO「CARE」についてのご紹介
2. 「ウクライナ危機緊急支援事業」についての活動報告
3. 日本に避難された、Sofiia Bielovaさんインタビュー
4. 質疑応答
5. 事務局長 河崎 卓からのご挨拶

はじまりは、「CAREパッケージ（ケア物資）」



■食べ物

缶詰と缶切り、全脂粉乳、チョコレート、干しぶどう、小麦粉、砂糖、マーガリンなど

※「乳児向け」、「幼児向け」、「標準食糧」など、発育段階に応じて異なる支援物資。きめ細かい配慮が。

■生活必需品

石鹸、木綿生地、シャツ、毛布など

■経済的な自立を促進する物

医療器具、大工用具、左官工事や電気工事のための道具や材料、農作物の種子や農具

支援を受ける側だった「戦後の日本」



1945年、戦後のヨーロッパを支援するために、アメリカの22の団体が協力して緊急支援物資を送ったのが、CAREの始まりです。

そして、1948年から8年間に亘り、**1,000万人の日本人**がCAREからの支援物資を受け取りました



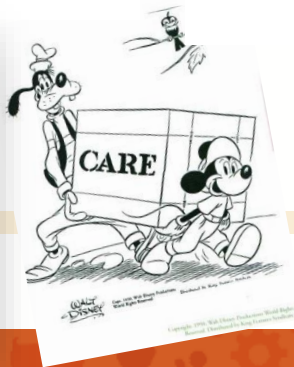
父親を原爆で失った広島少女



長崎の孤児院で暮らす戦災孤児たち



夫と息子を戦争で失った沖縄の女性



日本が経済成長を遂げた**1987年**、今度は

日本こそが、世界で苦しむ人々の助けになろう

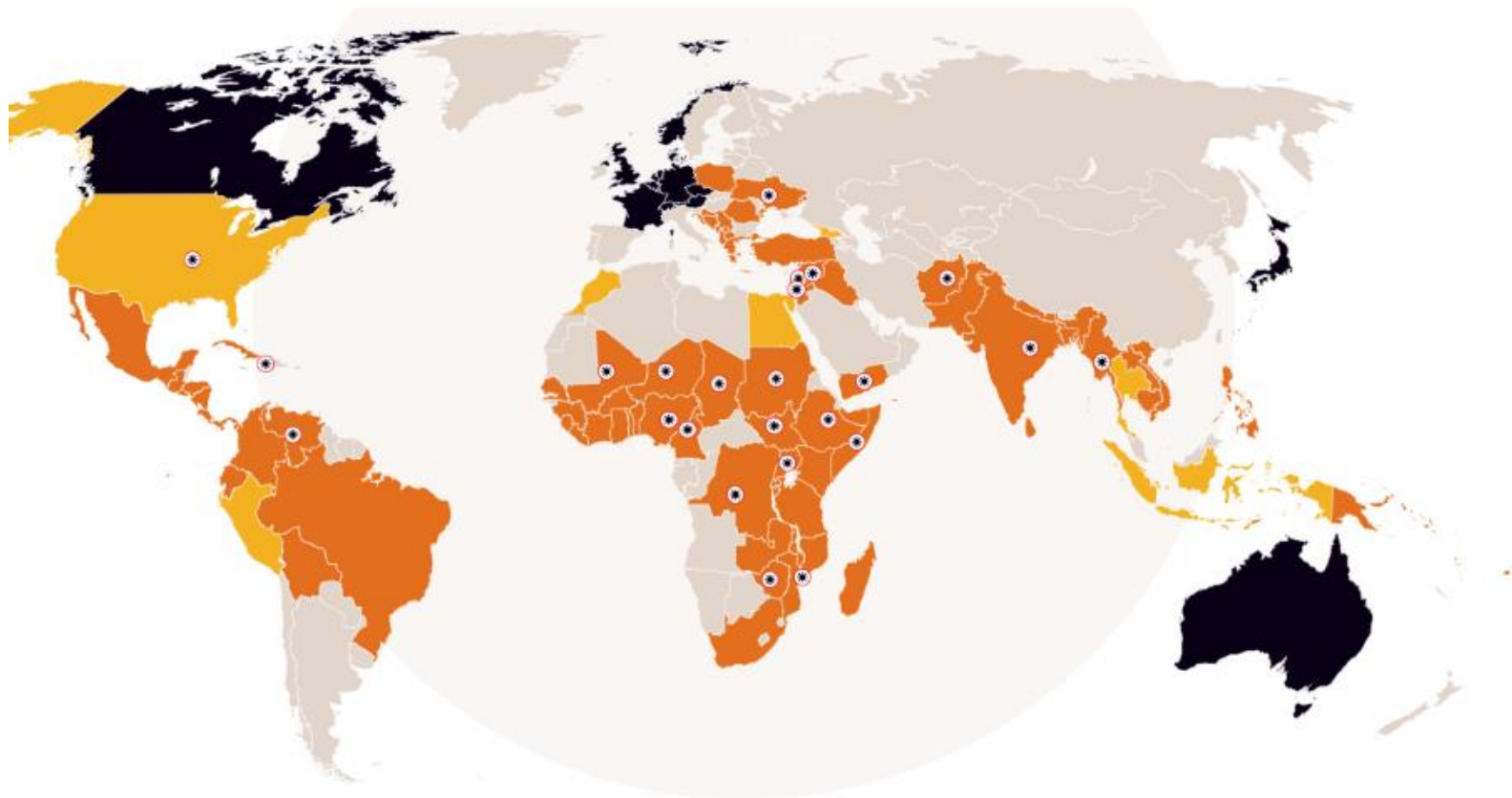
「恩返し」の想いで、ケア・ジャパンが発足しました。

CARE (ケア・インターナショナル)

The Cooperative for Assistance and Relief Everywhere



世界111ヵ国で、約1万人の職員が活動
年間 **1,631事業**を通じて、**1億7,400万人**を支援しています (2022年度実績)



国際NGO「CARE」 ビジョン、ミッション、フォーカス



Our vision

We seek a world of hope, inclusion and social justice, where poverty has been overcome and all people live with dignity and security.

CAREは、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、包摂的で公正な世界を目指しています。



Our mission

Save lives, defeat poverty, and achieve social justice.

CAREは、人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とし、世界中でその実現に向けて取り組めます。



Our focus

We put women and girls in the center because we know that we cannot overcome poverty until all people have equal rights and opportunities.

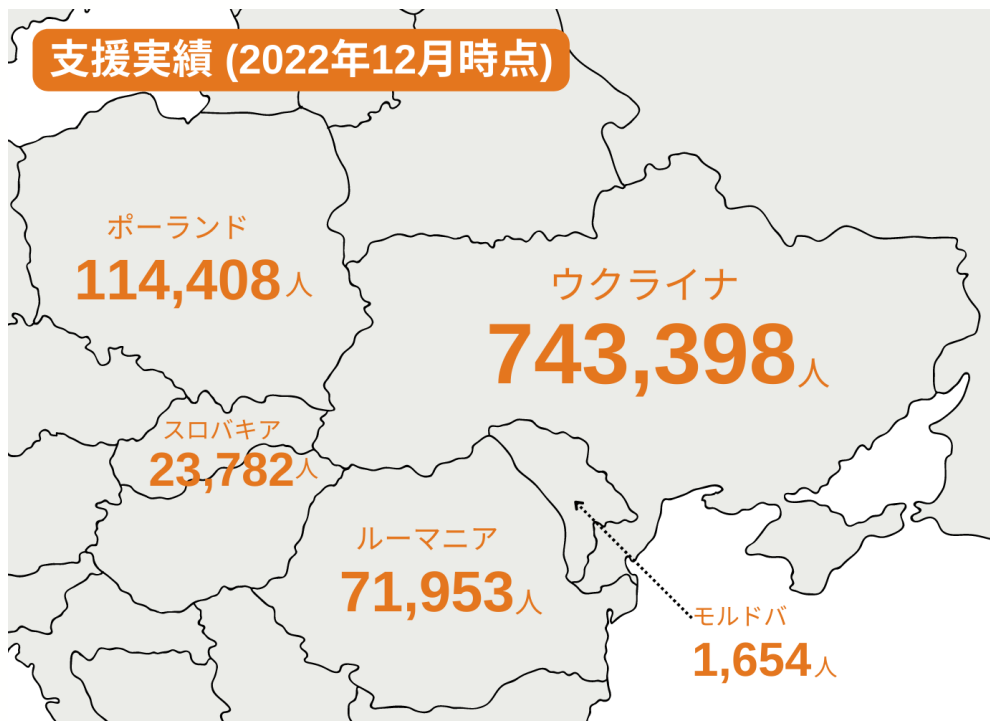
CAREは、「女性と女子」を活動の中心にすえます。
貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が平等な権利や機会を得る必要があります。

ウクライナ危機緊急支援 ～支援実績～



これまでに、**98万9700人**に支援を届けました
(2023年2月20日時点)

支援実績 (2022年12月時点)



©Petr Stefan, People in Need



©CARE/Lucy Beck

ウクライナ危機緊急支援 ～2022年9月現地事務所設立～



©CARE/Roman Yeremenco

ウクライナ危機緊急支援 ～ローカルパートナー団体との連携～



UN WOMEN（国際女性機関）

性的暴力の防止、女性が紛争防止と解決のための意思決定に参画するよう働きかけ
CAREと共にジェンダーリポートを発表



People in Need

中央ヨーロッパで最大の非営利団体の1つ、人道支援において30年以上の実績
リヴィウなど、主にウクライナ国内での物資援助



INTERNATIONAL RENAISSANCE FOUNDATION（国際ルネサンス財団）

民主的価値観に基づくウクライナの開かれた社会を発展させることを目指す慈善団体
リヴィウ、キーウなどで病院や公共施設への資金援助、ボランティアのサポート



ウクライナ赤十字、スロベニア赤十字

1863年に生まれた世界最大の人道支援組織
ウクライナ国内への物資輸送において連携



FONPC（ルーマニア児童保護NGO連盟）

子どもの福祉政策の策定と再定義が専門
緊急心理社会的サポートとトラウマカウンセリングに関する研修プログラムを提供



SERA

CAREと20年の長きにわたりパートナーとして共に活動
ルーマニア国境にて物資支援や情報提供、心理カウンセリングなどのサービス

ウクライナ危機緊急支援



1) 食糧、水、衛生用品などの緊急支援物資の配布



ウクライナ危機緊急支援



2) 避難や新たな生活に必要な現金や情報提供、法的サポート



All photos © 2022 Laura Noel/CARE

ウクライナ危機緊急支援



3) 支援活動を行うグループやボランティアへの活動資金の支援



ウクライナ危機緊急支援



4) 子どもたちへの教育支援



©CARE Germany / Laura Russ



©Raegan Hodge



©Raegan Hodge

ウクライナ危機緊急支援



5) 心理的影響とトラウマを緩和するための心のケア



© Florian Koleci



©Raegan Hodge



©CARE/Roman Yeremenco



©Raegan Hodge

ウクライナ危機緊急支援



6) 病院や施設への医薬品、医療機器の提供



©Tvoya Opора_CARE



7) ジェンダーに基づく暴力からの女性や女子の保護・救済



UN WOMEN（国際女性機関）と
「緊急ジェンダーレポート」発表

ウクライナ人道支援における 「女性や子どもたち（特に女子）」への配慮の重要性

- 脆弱な状況にあるグループのニーズへの対応
- 活動資金の提供や広報活動において、女性の権利団体を支援
- 包括的で差別のない避難所へのアクセスを可能にする
集合シェルターは性別および家族別の宿泊施設を提供
- 性的暴行の被害者の臨床ケアや避妊へのアクセスの確保
性と生殖に関する健康と母体、新生児、
および子どもたちの健康管理を優先事項にする



**RAPID GENDER
ANALYSIS OF UKRAINE**

4 MAY 2022





今、直面している「独立以来最悪の冬」

- ・ 度重なる攻撃を受け、エネルギーインフラは脆弱
- ・ 自治体ごとの計画停電
- ・ 氷点下20℃にもなる厳しい寒さとの戦いの中、国境を越えた避難が再び増加



©Raegan Hodge



©CARE/CFSSS



©CARE/Sarah Easter



©Deisser, Emmanuel

ウクライナ危機緊急支援



<https://youtu.be/BogfbdrVhew>

ウクライナ危機緊急支援 ～CAREの冬対策プログラム～



CAREウクライナ事務局長 ファブリス・マルティン

ウクライナ国民は、冬を乗り切るための支援、特にシェルターやインフラの改修を緊急に必要としています。また、ジェンダーに基づく暴力の予防と保護などの対応は、冬対策活動においても重要です。

支援の階層	活動	提供方法	コスト(目的)
1) 家庭向け 防寒対策キット	冬物キット、固形燃料 配給 水と衛生/尊厳キットの配布 冬支度のための現金給付	標準化されたキットの調達と配布 または現金/バウチャーによる代替	低単価 (予見的活動)
2) 家庭向け 修繕・改修	軽・中型修理プログラム 修理代金の現金給付 修理用ツールキット	カスタム品の調達と配布 個別技術評価に基づく作業の分担 または現金/バウチャーによる代替	中単価 (準備活動)
3) 施設の改修	集合住宅を含む施設の改修と アップグレード	カスタム品の調達と配布 個別技術評価に基づく作業の分担 有能な機関への現金助成	高単価 (備えの活動)
4) シェルターへのアクセス サポートサービス	法的・心理社会的支援サービス の提供	CAREパートナーが雇用・管理する専門ス タッフによる直接支援サービス	一定期間の継続的な サービス (早期回復)

ウクライナ危機緊急支援 ～復興への基盤づくり～



●難民統合支援センター(INT)を設立

- ・現金支援 ・住宅支援 ・法律に関する支援 ・語学講座 ・職業相談・紹介
- ・難民教育(教員研修、学校外でのプログラム含む、Librusとも協力)
- ・女性や子どもたちへの専門的な医療サービス

●現地パートナー団体の体制強化

- ・緊急人道対応やジェンダーに基づく暴力や保護に関するトレーニング

●中長期的な心のケア

- ・今後数年間で約1,500万人のウクライナ人が心のケアを必要とする見込み
- ・チェルカースィの支援施設への資金提供

2025年3月まで支援活動を継続

Sofiia Bielovaさん インタビュー



<https://youtu.be/Osnns5iydSE>

事務局長 河崎 卓からのご挨拶



最後に



クラウドファンディングに挑戦中！ 2月28日23時まで

寄付金控除型 #ヨーロッパ #社会にいいこと #国際協力 #人権 #マイノリティ #避難所 #発展途上国 #難民 #貧困 #寄付金控除型 #ウクライナ

ウクライナ支援 | 難民の9割を占める女性・子どもたちの明日を支えたい

 公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン



寄付総額

2,486,000円

目標金額 3,000,000円

82%

寄付者 残り
130人 12日

フォローする

プロジェクトの寄付にすすむ

シェア

ツイート

LINEで送る

noteで書く



https://readyfor.jp/projects/care_ukraine_winter



ありがとうございました。



◆アンケートへのご協力をお願いします。

(所要時間 1 分程度)

<https://forms.gle/5cwSD2XHTuKuXJyx9>

